

担い手確保に向けた既往の取組み状況

＜参考資料集＞

北陸地方整備局の取組み

＜参考資料集＞

【事例①】建設会社と連携し、高校の文化祭で鋼矢板圧入工法を実演

- 新潟県立新潟工業高等学校の文化祭(H25.10.26)で、「阿賀野川堤防耐震対策事業」を紹介。
(※阿賀野川河口部左右岸(-0.2k~3.2k間)で、地震による液状化で河川堤防が沈下・破壊し、堤防の機能・役割を果たせなくなる為、被害の軽減・防止を目的に右岸特殊堤耐震対策工事を実施。※特殊堤区間延長930m間)
- 新潟県立新潟工業高等学校(土木科)から文化祭(北斗祭)への参加オファーがあり実現したもの。
(※前年度の土木科2年生、3年生の工事現場見学会がきっかけの繋がり、担当教諭より相談。)
- 阿賀野川河川事務所からは、生徒、保護者の方、高校のOB等の皆様方に事業の概要・目的・工事の説明を紹介したパネル、工事使用機械の模型展示や使用している鋼矢板の実物を展示し、防災事業への理解等を深めていただくよう一室を借りて実施しました。
- また、工事請負者より、会社PRと土木工事紹介協力として、鋼矢板打込工法(サイレントパイラー)の学校敷地内での実演を行いました。



■文化祭会場：県立新潟工業高校正面口
新潟県新潟市西区小新西1丁目5-1



■展示場所：土木科棟2階総合実習室



■展示室①：生徒・保護者の観覧状況



■鋼矢板打込実演：1回目11時約50名
サイレントパイラーにより鋼矢板2枚打込



■鋼矢板打込実演：2回目13時半約80名
工法概要・解説をまじえて説明しています。



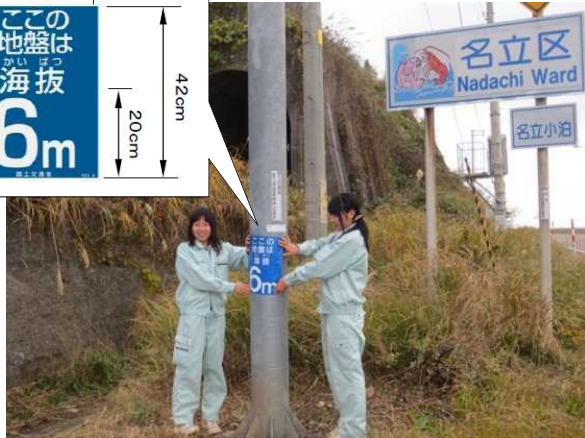
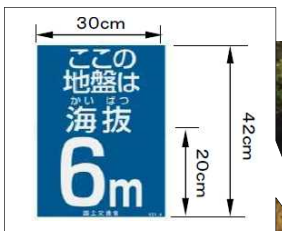
■展示室②：職員による熱心な説明

【参考②】津波対策（海拔表示の設置）のための測量作業を協働して実施

- 津波対策の一環で国道沿いに海拔表示を設置する北陸地整の取り組みに、県立上越総合技術高校の環境土木科3年生が、各設置箇所の測量作業に協力。
- 平成23年に「高校生ものづくりコンテスト」測量競技部門で全国優勝した実績があり、地域貢献の一環として測量作業に参加。
- 国道8号（久比岐自転車道）の約12kmと国道18号（側道）の約4kmを、夏休み期間や授業時間を利用して作業を進め、成果がまとまった後は「測量成果報告会」を開催。
- 事務所長から協力してくれた生徒と学校へ「感謝状」を贈り、将来、建設界へ目指して欲しい旨を伝えた。



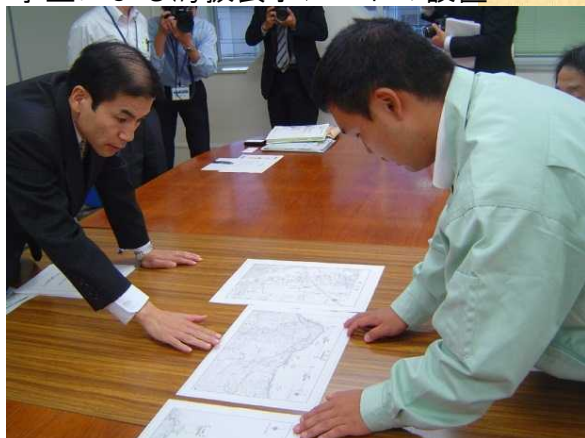
測量作業実施状況
(国道18号側道)



学生による海拔表示シートを設置



測量作業実施状況
(国道8号久比岐自転車道)



「測量成果報告会」にて、事務所長に説明



感謝状の贈呈



「将来、建設界を目指してください！」の激励

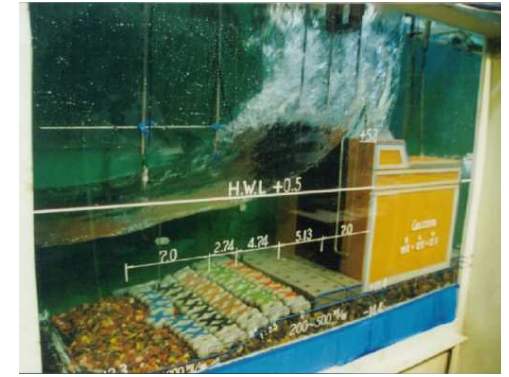
【事例③】ブロック単位で直轄事務所（河川・道路・港湾）が連携した取り組み

- 直轄事務所（新潟国道事務所、信濃川河川事務所、新潟港湾空港整備事務所）が連携して、新潟下越地域のインフラ整備の現場を、新潟大学の学生約35名に案内。
- 道路、河川、港湾の単独分野だけではなく、北陸地方整備局が多方面で地域に貢献する姿を知ってもらい、学んでもらう。



【日時】平成25年9月27日(金)

【参加者】新潟大学 建設学科社会基盤工学コース(土木) 2年生35名



新潟海岸の整備に係わる水理模型実験等の見学



大河津可動閥・分水路の事業概要・歴史を学ぶ



R8号白根バイパスの地盤改良工事現場の見学 4



【事例④】“先輩(卒業生)”が働く道路工事現場を見学

「すごく誇らしかった」 ～建設界の担い手確保の取り組み～

【“先輩”が働く道路工事現場を見学（高田農業高等学校 土木科2年37人）】

高田農業高等学校から、専門教育の一環として上越三和道路の工事現場の見学依頼を受け、生徒達に建設界をより身近に感じてもらうため、国交省職員や現場代理人などの説明者を同校の卒業生（先輩）がつとめた。



現場見学の前に、教室において、“先輩”から説明！

○高田かわこく 道路管理第二課長

「国土交通省の役割」や「上越三和道路の事業概要」について

○工事を担当する岡田土建(株)や(株)大島組の現場代理人

「工事内容」など「地区に残る仕事」について

説明後の生徒からの「建設界のやりがい」についての質問には、高田かわこくの若手職員が建設界の魅力を含め回答した。

現場見学は、場所打ち杭の鉄筋かごの鉄筋径の確認や下部工事のコンクリート打設状況等の確認を行った。

生徒達は、普段、入る事のできない現場で大型クレーンや橋梁下部工の大きさに目を輝かせていた。



※JCV提供画像

現場見学を終えた生徒から、以下の声を聞くことができた。

「とても勉強になったし、何か、ますます興味がわいてよかったです。」

「すごく誇らしかったです。地元の建設現場で働きたいです。」

「こういう自分の学んだ専門分野を生かせる仕事に就いて、こういう所に立てればうれしく思いますね。」（マスコミのインタビューより）

また、これらの状況は、TV 1社、新聞2社、有線放送1社で報道された。

【事例⑤】PTAや教員を対象にした現場見学会を開催

- 平成26年9月20日(金)に国道8号入善黒部バイパスの江口(えぐち)高架橋(仮称)で、県立富山工業高校のPTA25名の方々を対象に現場見学会を開催。
- 現場見学会の冒頭に、当事務所職員からPTAの方々へ国土交通省の業務紹介及び道路事業の進め方を、さらに、施工業者から施工方法等の説明を行い理解を深めていただいた。
- 施工現場等をPTAの方々に見学していただくことで、富山県立工業高校の生徒のみなさんの進路選択の一つとして、建設業界にも関心を持っていただき、進路相談の一助として頂くことを目的。

Material For PRESS Release 富山河川国道事務所 記者発表資料 平成25年9月19日 扱い：配布後解禁

建設現場見学会の開催について ～県立富山工業高校PTA25名～

富山河川国道事務所で開催している国道8号入善黒部バイパス事業の内、魚津市内の「江口(えぐち)高架橋(仮称)L=194m」では、現在、上部工を施工しております。
この度、上記工事現場において、県立富山工業高校(富山市五福)のPTAの方々に対象に現場見学会を開催しますのでお知らせします。
当見学会の目的は、保護者ならびに教職員の見聞を広め、進路相談の一助として頂くものであります。

- 見学会の概要
 - 日時：平成25年9月20日(金)9時45分～11時15分
 - ※集合時間は開始時間と同様、雨天決行
 - 場所：魚津市江口地先
 - 対象者：県立富山工業高校PTA25名(予定)
 - 駐車場：取材の方は駐車できますので、集合場所まで車でお越し下さい。
- 見学会の内容
 - ①高架橋の箱桁内部、免震支承
 - ②鉄筋組立作業
 - ③作業環境(現場事務所、休憩所)



お問い合わせ先
工務第二課長 高島勝志 TEL: 076-443-4712 (直通)
FAX: 076-443-4713



事前説明の様子



免震支承の仕組みの説明を受ける様子



箱桁内部の様子



鉄筋組立作業の説明を受ける様子

【事例⑥】「ドボジョが集合」～女性技術者の活躍推進の取り組み～

【女性技術者が現場（職場）で活躍できる環境の創出に向けて現場見学会と意見交換会を開催】

能越道七尾氷見道路の工事で、女性が監理技術者を務める現場からの相談を受けて、富山河川国道事務所と地盤工学会北陸支部が協力して企画・運営。意見が出やすくなるよう意見交換会は女性限定とし、現場での説明も女性の技術係長や監理技術者がつとめた。



現場と重ダンプを背に祈念撮影



会社は違ってもヘルメットのシール色は一緒

参加者どうしの交流を深め、活発な意見交換ができるよう、分野や立場の異なる41名の参加者を集合直後から6つのグループに組み分け

【女性技術者の内訳】

整備局（7名）、自治体〔富山市、金沢市、七尾市〕（10名）、建設会社（8名）、コンサルタント（6名）、調査会社（6名）、学生〔富山県立大、石川高専〕（5名）

☆名札とヘルメットに貼付けるシールはグループ毎に変え、一体感を創出☆

現場見学では、情報化施工による大規模土工や大規模プロジェクトに欠かせないパイロット道路、CIM（Construction Information Modeling）等について、実際に工事に使われる重機や盛土材料を目の前にして説明を受けた。

参加者からは、「大規模な現場で驚いた」、「最新のICT技術がこれから普及してほしい。」等の感想が寄せられた。



泥岩サンプルで膨潤実験



中波地区の切土工事で情報化施工を見学

現場見学後に氷見市女良地区女性活動拠点施設に場所を移して意見交換会を開催

＜意見交換会のテーマ＞

- 女性の視点で見た現場に足りないもの
- 女性が技術者である事のメリット、デメリット
- 女性技術者に対する偏見
- 建設業に関心はあっても他業種と比較して建設業を女性の職業として選べない致命的な原因は何か

これらの状況は、新聞4社で報道された。

＜報告された意見の一例＞

- ・現場には女性用のトイレ、更衣室、休憩室がない。
- ・女性の体型に合った作業服がない。
- ・女性だからと意識されすぎる。
- ・男性は愛想がないので、女性はオープンな現場づくり、業界の魅力発信ができるのではないか。

☆意見交換会だけで聴き取れない意見はアンケートで補完☆



各グループでまとめた意見は副所長に報告

<参考> 女性職員の活躍をPR！

- インフラ整備・管理の最前線で活躍する女性技術職員の姿や、子育ての両立支援制度などを活用しながら活躍する女性職員を紹介し、安心して働ける職場環境であることをPRする。
※PRチラシ、パンフレット、HPで紹介中

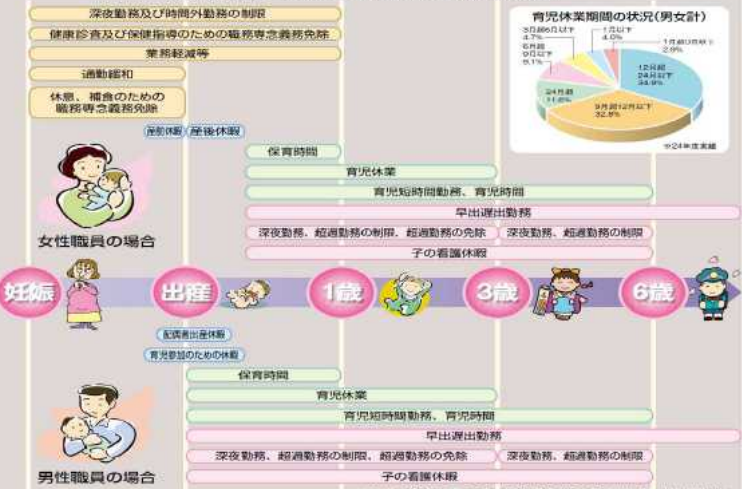
北陸地方整備局は働く女性を応援します！！

女性職員が安心して働けるとても良い職場です。育児休業や特別休暇など、仕事と育児の両立支援制度の整備により、事務系・技術系を問わず、多くの女性が結婚、出産後もそれぞれ職場の第一線で活躍しています。

ワーク・ライフ・バランス (仕事と家庭生活の両立支援)

<p>【3歳未満の子どもを養育する場合】</p> <h3>育児休業</h3> <p>配偶者の就業等の状況にかかわらず取得可能</p>	<p>【出産する場合】</p> <h3>産前・産後休暇</h3> <p>産前5週間、産後8週間 (多胎妊娠の場合は産前14週間)</p>	<p>【生後1年未満の子を養育する場合】</p> <h3>保育時間</h3> <p>子が1歳に達するまで、1日2回それぞれ30分以内</p>
<p>【小学校就学前の子どもを養育する場合】</p> <h3>育児短時間勤務</h3> <p>勤務時間を1日3時間55分(週19時間35分)等に短縮</p>	<p>【小学校就学前の子どもを養育する場合】</p> <h3>育児時間</h3> <p>1日の勤務時間の一部(2時間まで)を勤務しないことが可能</p>	<p>【小学校就学前の子どもを養育する場合】</p> <h3>子の看護休暇</h3> <p>年5日 (対象となる子の2人以上の場合は年10日)</p>
<p>【配偶者、父母、子、祖父母、孫、兄弟姉妹等を介護する場合】</p> <h3>介護休暇</h3> <p>6ヶ月の期間内で必要と認められる期間</p>	<p>【配偶者、父母、子、祖父母、孫、兄弟姉妹等を介護する場合】</p> <h3>短期介護休暇</h3> <p>年5日 (対象となる部分労働者2人以上の場合は年10日)</p>	<p>【小学校就学前の子どもを養育する場合】</p> <h3>深夜勤務・超過勤務制限</h3> <p>深夜勤務は免除 超過勤務は月24時間・年150時間以内を制限</p>
<p>【3歳未満の子どもを養育する場合】</p> <h3>超過勤務の免除</h3>		

育児に関する両立支援制度の利用可能期間



※人事院平成26年度版国家公務員女性ガイドより抜粋

先輩からのメッセージ！！
仕事なので厳しいときもありますが、その分やりがいは十分あります！
また女性だから…という雰囲気は全くなく、働きやすい職場です。
多くの女性が活躍していますよ！

笹原 有紀 sasahara yuki 30代
1男1女のママ
☆制度活用☆育児休業、早出遅出勤務

ママとして
技術者として
母子共に成長したい

現場監督業務の様子

土屋 薫 tsuthiya kaori 20代
☆制度活用☆産前・産後休暇、育児休業予定

地元の声を
かたちにする
よろこびを感じて

先輩からのメッセージ！！
国ならではの幅広い事業を経験でき、家庭と仕事を両立しながら働く女性も多い職場です。
一緒に仕事ができる日を楽しみにしています！

災害対策室にて情報連絡の様子

【事例⑦】 長岡技術科学大学の「建設デザイン」への非常勤講師の派遣

【開催要旨】

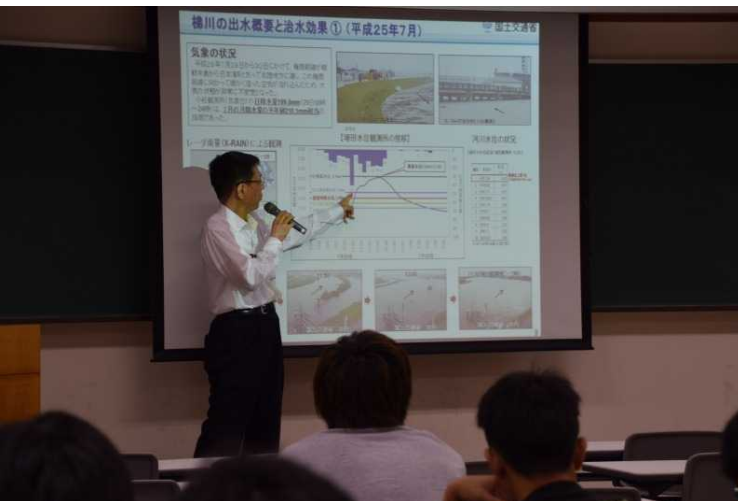
- 長岡技術科学大学の「建設デザイン」非常勤講師として、北陸地方整備局より企画部長、企画調査官、信濃川河川事務所長が、例年講義を担当（各1コマ担当）。
- 就職活動前の進路決定前のタイミングで、建設分野の仕事や土木行政についてよく知ってもらうことが目的。

【平成26年度の実施状況】

平成26年6月6日（金）企画部 田中企画調査官
（テーマ）北陸地方における防災工学～各論（道路編）～
信濃川河川事務所 福渡所長
（テーマ）信濃川における治水の歴史

平成26年8月1日（金）企画部 小口企画部長
（テーマ）北陸地方における防災と社会資本整備

【参加者】 長岡科学技術大学 建設工学課程 3年生 約40名



小口企画部長による講義



学生の参加状況



学生との質疑の状況

【事例⑧】 土木・建築等の学生を対象に夏期実習生を受け入れ

◆各大学等からのインターンシップの状況

- 北陸地方整備局では、技術系(土木・機械・電気通信・建築)の学生・生徒を対象に実習生を受け入れている。
- 平成26年度は、17名の学生・生徒(高校・高専・大学)を10事務所で受け入れている
- 実習生出身校の若手OB・OG職員による実習時間を設け、身近な先輩技術者から仕事の魅力を伝える工夫も行っている。

実習生受入のスケジュール

- 5月上旬～ 北陸地整HPに募集のお知らせ掲載
- 6月上旬～下旬 学校毎の希望調書から受入事務所の調整、決定のお知らせ
- 7月上旬 受入事務所と実習生の調整
- 8月 実習(※期間は2週間程度)

【北陸地方整備局実習生受入フロー】

	学生・生徒	学校	北陸地方整備局	事務所
5/7～ 募集開始	実習希望者は学校へ申請		HPに募集を掲載 (受入事務所、時期、人数、テーマ、実施要領、希望調書、覚書、誓約書、意気込み)	
6月上旬 受入調整段階		実習推薦者の決定 様式-1希望者調書の提出※締切6/5	受入事務所の調整	
6月下旬	必要書類： ・様式-3誓約書 ・様式-4意気込みの作成	実習生決定通知の受理、必要書類の送付 様式-2覚書の作成	決定 実習生決定通知、実習にあつての必要書類送付 様式-2覚書の送付 受入事務所へ連絡	実習生受入準備開始
7月上旬	受入事務所との連絡	様式-2覚書、様式-3誓約書、様式-4意気込み、をとりまとめ、提出	とりまとめ ・覚書の締結 ・様式-3誓約書、様式-4意気込みのとりまとめ	夏期実習計画書の提出 必要書類(写)の受
実習	実習終了後2週間以内に「実習内容に関する報告書」提出	とりまとめ、送付	とりまとめ	実習生受入開始 実習終了 夏期実習評価書の提出 報告書(写)受理

夏期実習実施状況



信濃川下流河川事務所
総合学習(上所小学校)の講師を体験



千曲川河川事務所
千曲川の水生物調査に参加



長岡国道事務所
橋梁補修現場での実習



新潟港湾空港技術調査事務所
新潟港(新潟西港)の事業説明

【事例⑨】 建設界（建設業協会、自治体、国）が一体となった業務説明会の実施

行政と企業のコラボ説明会 ～実は身近にある建設業～

1. ねらい

- ・地域貢献を含めた、建設界の本来の姿を伝える
- ・建設界に触れるきっかけづくり
(これまで建設界に興味のない学生への波及)
- ・理系(建設学生)のみという、イメージの打破を行う
- ・官民合同による説明を行う事で、建設界一体の取組みを実行

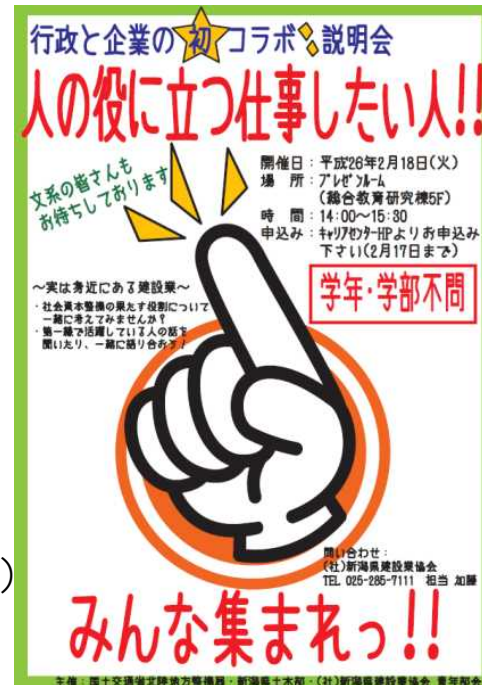
2. 開催概要

- 〔主催〕 国(北陸地方整備局)、新潟県(土木部)
企業(新潟県建設業協会青年部会)
- 〔対象者〕 新潟大学 学生全般(理系・文系の全学年を対象)
- 〔日時〕 平成26年2月18日(火) 14:00～15:30(約90分)
- 〔概要〕

- 1) 気づきを与えるプレゼン : 10分
- 2) 感動体験発表(興味をもたせる) : 10分×3、DVD10分
(※北陸地整、新潟県、協会より)
- 3) 社会人と語る(座談会) : 20分
- 4) 建設業とは(深く知りたくさせる説明) : 5分
- 5) 採用スケジュールなどの情報提供 : 5分
- 6) 質疑応答 : 10分

〔参加者〕

- ・参加者の構成は、法学部3名、経済学部3名、教育学部1名、理学部1名、工学部2名の計10名。
- ・学生たちの学年は、1年生～4年生、院生まで幅広い層。



<案内ポスター>



<国、県、企業(3名)から感動体験を発表>



<社会人と語る座談会(和やかな雰囲気)>

〔参加者からの意見〕 ※アンケート結果より抜粋

- 文系なので建設業には正直大きな興味はなかったが、様々なフィールドややりがいを感じた。
- 実際に現場で働いている方々のお話を聞き、現場の方々の誇りを感じた。
- 官、民の双方想いを聞いて、建設業への興味更に強くなった。
- 建設業では、男女がそれぞれ長所を活かして働くことができる場であることを知った。
- アンケートのその他問いでは、参加した学生全員が建設業を身近に感じて、建設業がどのようなことをしているかが分かったという結果。

【事例⑩】「北陸地整がススめる！現場見学ガイド」の作成

- 施工中の工事現場やダムなどの管理施設等の現場見学会の実施予定について、「北陸地整がススめる！現場見学ガイド」と命名し、「わかりやすく」、「一元的に」、かつ「定期的」に情報発信。
- 多くの方が公共事業の意味を理解し、その取組について共感していただき、その結果として建設界全体の人材を確保することを目指すことを目的とする。（※HP等で情報発信）

「北陸地整がススめる！現場見学ガイド」



地図上のマークをクリックして詳細をご覧ください。
(下のリストからもご覧いただけます)

- 河川(砂防、海岸、ダムを含む)
- 道路
- 港湾
- 公園
- 営繕
- 技術

いつの間に?!
PC桁による岸壁上部工の施行!

北陸地整がススめる！現場見学ガイド (2014夏・秋合併号)

いつの間に?! PC桁による岸壁上部工の施行!

工事の目的
工事の成果
建設工事の見どころ
見学可能な日程
問い合わせ先

北陸地整がススめる！現場見学ガイド (2014夏・秋合併号)

道路 17 夏でも涼しいトンネル工事!? それでも現場は燃えている!

道路名: 国道159号金沢東環状道路 管理者: 金沢河川国道事務所 施工者: 西松建設(株)北陸支店

施設の目的
位置図
施設工事の見どころ
見学可能な日時
問い合わせ先

金沢河川国道事務所 工務第二課
TEL (076) 264-8575

No.	県名	おススメポイント	問い合わせ先	おススメ時期
河川-1	山形県	白い森の渓谷 【横川ダム】	羽越河川国道事務所 横川ダム管理支所 TEL 0238-65-2363	6月~10月
河川-2	福島県	会津盆地を守る緑の下の力持ち 【大川ダム】	阿賀野川河川事務所 大川ダム管理支所 TEL 0242-92-2639	6月~10月
河川-3	新潟県	全国的に珍しい! ~ダム湖に出現するグリーンベイル~ 【大石ダム】	羽越河川国道事務所 大石ダム管理支所 TEL 0254-64-2251	夏期
河川-4	新潟県	地震に強い堤防へ 堤防の耐震対策をしています 【阿賀野川松浜特養堤防耐震対策工事】	阿賀野川河川事務所 総務課 TEL 0250-22-2211	8月~11月
河川-5	新潟県	砂浜を守る海中の構造物 【金岡町工区人工リーフ工事】	信濃川下流河川事務所 総務課 TEL 025-266-7131	7月~8月
河川-6	新潟県	「東洋のパナマ運河」とも呼ばれた大河津分水 【大河津資料館】	信濃川河川事務所 総務課 TEL 0258-32-3020	通年
河川-7	新潟県	信濃川と暮らしの関係がわかる ~魚がのぼる様子もよく見えます~ 【妙見記念館】	信濃川河川事務所 総務課 TEL 0258-32-3020	通年
河川-8	新潟県	中部地震復興を支えた砂防構造物博物館へようこそ 【幸川砂防フィールドミュージアム】	湯沢砂防事務所 流域対策課 TEL 025-784-2926	積雪前
河川-9	新潟県	「ダムの中?」に入ってみませんか 【三國川ダム】	三國川ダム管理所 TEL 025-774-3015	5月~11月
河川-10	新潟県	エッ? ラジコン? 堤防の床屋さん 【堤防遠隔壁刈機】	高田河川国道事務所 調査第一課 TEL 025-521-4345	7月上旬~9月下旬
河川-11	新潟県	長大利の法面対策 【荻葉下流山崩工法面工工事】	松本砂防事務所 総務課 TEL 0263-33-1115	10月まで
河川-12	富山県	「離岸堤」は、ブロックの塊だと思ったら...海の中に隠れている秘密!! 【下新川海岸 吉原離岸堤工事】	黒部河川事務所 入管海岸出張所 TEL 0765-72-0130	8月~9月
河川-13	富山県	日本屈指の急流河川! 富山平野を守る治水の歴史を見てみよう! 【室積寺川】	富山河川国道事務所 調査第一課 TEL 076-443-4715	4月~11月

国指定重要文化財と調和した河川工事

北陸地整がススめる！現場見学ガイド (2014夏・秋合併号)

国指定重要文化財と調和した河川工事

施設の目的
工事の成果
建設工事の見どころ
見学可能な日時
問い合わせ先

【事例⑪】 インフラツアー（道路工事現場）への協力

- 三条市が主催する現場見学会と観光をセットにした、『秘境八十里越体感バス』を平成25年6月よりスタート。
- 三条市では、「秘境八十里越」を核とした下田郷の観光の目玉として、周辺観光施設への立ち寄りなど交流人口を拡大。長岡国道事務所では、事業の効果・必要性の確認と、事業への理解と協力に繋がり、双方ともにメリットがあるものとして協力体制を構築。ツアー運営は、旅行会社が担当している。
- これまで(H24年度)、現場見学会を希望する団体を対象に見学会を実施していたが、個人でも現場を見学できるような枠組みとしている。

体感バス出発式(H25.6.30)



北陸地整による現場説明の様子



5号橋梁架設予定位置

8号トンネル坑口

～ 感じよう、あふれる自然・歴史ロマン・未来へつなぐ土木技術～

秘境八十里越 体感バス

国道289号「八十里越」とは？
国道289号は、前身45号国道として設定された新橋町新橋地区として加賀川、のちに北陸自動車道の200kmの道路です。
このうち新潟県三条市(旧下田郷)から福島県只見町に至る区間が「八十里越」であり、実際の距離は八十里に及ぶのです。その名の通り、山岳地帯に囲まれたことから、「八十里越」と呼ばれています。成長期の際、越後と阿蘇を河川津之助が舟を自った体で合弁へ渡れるため、最後の方を振り返って渡ったとしても知られています。

参加者限定 特別提供
入館+お食事 +ソフトドリンク券 2,100円(税込)
入館+ソフトドリンク券 900円(税込)

旅行代金 2,000円 (消費税別100円)

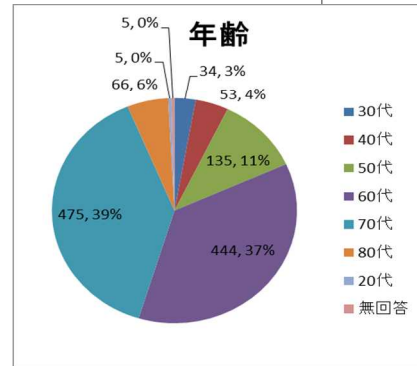
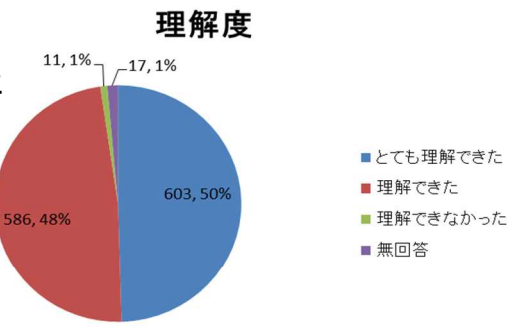
＜平成26年度 運行計画＞
○期間：6月29日(日)～11月9日(日)
○頻度：日曜日の午前、午後の2便
○マイクロバス：4台 (定員84名) / 便
○回数：日曜日32回 2,688名
火曜日4回 168名
H26合計 2,856名 (H26/H25≒2.1倍)
(参考：H25実績 1,351名)

＜平成26年度 運行計画＞

- 期間：6月29日(日)～11月9日(日)
- 頻度：日曜日の午前、午後の2便
- マイクロバス：4台 (定員84名) / 便
- 回数：日曜日32回 2,688名
火曜日4回 168名
H26合計 2,856名 (H26/H25≒2.1倍)
(参考：H25実績 1,351名)

＜アンケート結果＞

Q：国道289号八十里越事業について理解できましたか？



★体感バスを通じて、事業理解度は〔98%〕の方が理解できたと回答。